

平成26年9月25日

会員各位

公益財団法人日本博物館協会

三重県立美術館における保存修復に関するワークショップについて（ご案内）

先般お送りしました「第62回全国博物館大会のご案内」の開催要項において、11月21日（金）に三重県立美術館にて、保存修復に関するワークショップを予定している旨をお伝えしておりました。このたび、講義解説やポスター展示と併せて、下記のとおり開催することとなりましたのでご連絡いたします。ワークショップは事前申込み制となりますので、参加を希望される場合は、大会とは別に、お申し込みくださいますよう、お願いいたします。ご連絡が遅くなりましたこと、お詫びいたします。

記

事業名： 大津波被災文化財保存修復連携プロジェクト 第2回ワークショップ

開催日： 平成26年11月21日（金）

会場： 三重県立美術館（津市大谷町11番地）

プログラム： 講義解説（講堂） 10時～12時 【自由参加、定員140名】

実演ワークショップ 13時～17時 【事前申込み制、定員40名】

参加費： 無料

実演ワークショップへの参加申込み方法：11月7日（金）までに、FAXまたはEメールにて、お申し込みください。「三重ワークショップ参加希望」として、①所属館園名、②氏名、③連絡先電話番号、④Eメールアドレスをお書きください。

※希望者多数の場合は調整させていただきます。

<申込み・お問合せ先> 日本博物館協会「三重ワークショップ係」

電話：03-3591-7190 / FAX：03-3591-7170

Eメール： webmaster@j-muse.or.jp

◆◆◆関連イベントとして、ポスター展示を行います。◆◆◆

展示期間：平成26年11月19日（水）～11月21日（金）

展示場所：三重県立美術館 地下1階 講堂前フリースペース（入場無料）

このワークショップは、平成26年度文化芸術振興費補助金（地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）の助成による「津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト」事業の一環として実施します。本事業によるワークショップの実施は今回が第2回目となります。

東日本大震災によって被災した文化財のなかでも特に津波による被害を受けた文化財については、これまでにはない新しい保存・修復技術の構築が求められ、発災後さまざまな試行錯誤のなかで、本格修理の前段階として実施される安定化処理技術が、多様な素材に対し確立されてきました。現在、その技術を使って被災文化財の再生が続けられています。

今回のワークショップでは、陸前高田市立博物館の津波被災文化財に対し、これまで施されてきた安定化処理の概要を説明し、併せて代表的処理技術について、実演をとおしてご紹介いたします。